

Negative capability

「負の能力」 帝木蓬生著

コロナ禍を生き抜くヒントあり。「負の能力」=『…分からなさ、不思議さに耐え、宙ぶらりんな状態に踏みとどまる能力…』そうすることで知性が研ぎ澄まされると。また艱難辛苦は人の善意を芽生えさせるとも。ご一読あれ！

では当時の感染予防の記事を詳しく伝えています。当時も「マスク」の着用と「一人一人の行動」が感染予防につながると報道されています。マスクは当初 30 銭(かけそば 6 杯分)でしたが徐々に値下げされたようです。それにしても「読売くらし面」はなんと 106 年の長寿紙面なのです！

詰まったものの DNA から江戸の庶民が何を食べていたか憶測するというものです。科学の進歩は未来だけに向かうものではなく過去の分析にも大いに役立っているのです。

スペイン風邪の教訓

大正時代の読売紙面に学ぶ

読売くらし面の前身「よみうり婦人付録」(1914 年創設)

ドラゴンへの階段 第14回

エッセイ版「神仏頼みと試行錯誤④」 佐藤 洋祐

皆さん、こんにちは！皆様のご健康を心よりお祈り申し上げながらこうして筆をとる今、時節は初夏を思わせる陽気になりました。連載をはじめてからもすでに1年以上が経ち、時の流れの速さに驚くと共に、どのような状況でも変わらぬ淡々と移ろう季節というものを有難く愛おしく感じる、充実した日々です。

さて、「日本レコード大賞を狙うぞー」という目標に向けての神仏頼みを始めて約半年。神様仏様は私の人生に全く新しい側面をもたらし、ものの見方、それに対する思考の方法を劇的に変え、大きな成果とこうして素晴らしい今をもたらし続けて下さいました。もともと神様を信じたり、ご先祖様を殊更には重んじてこなかった私のようなものが、急にはじめた「願掛け」という行為、それがいったいどうしてこれほどまでに自分にとってプラスになったのか、信心の足りぬ浅はかな私ながら、考察させていただきたいと思えます。

今から思いますに、神様を信じお願いをさせていただこうと決めた私は、神様に対してはすべて素直に心を打ち明けていました。そのおかげで、自分の身に起こる有難い出来事はもちろんですが、大失敗、ちよつとした禍(わざわい)、成果の上がない不調な時期など多くのネガティブな要素に対しても、全て自分に与えられたものとしてすんなり肯定的に受けとめることができました。起きたことに対して自分で審判をくださず、恥ずかしい失敗を経験した時、あ、これは貴重な経験をいただいたな、有難いことだなと謙虚に受け止めることができました。こんな信心の足りない私でも、流石に神様を疑う気持ちには1つもありません。「神様は人間と違って感情を超えた存在なんだから、絶対に人に自分に意地悪をしたり、罰をくだしたりはしない」という前提からスタートできたからかもしれません。



願掛けや毎日の神様との対話は神様の存在を除けば完全に1人の時間でした。他の情報は一切入ってきません。しかも、神様を自分とそれを見つめるもう一つの自分の間に一枚挟ませていただいていますから、一番素直で謙虚な心で自分自身と向き合っていた時間とも言えます。これほどまでに自分を客観的に、謙虚にみつめる時間は過去になかったと言えます。これは、神様仏様がいない、科学的非科学的、そういうことはもう問題ではなくて、神様仏様、ご先祖様にお祈りする、供養をする、そういったことが人間に深い自己観察、洞察をもたらしてくれる偉大な知恵の行為であるという事を知りました。

改めてこうした知恵を私たちに残してくださいました先人たちの素晴らしさに感嘆し、深く感謝を申し上げながら、これからも夢に向けて願掛け、続けて参ります。だって、きつとこの夢がかなったら心から喜んで、元気になってくださる方々がたくさんいらっしゃるし、私を見てくださっている神様だってきつとお喜びくださるでしょうから！

佐藤 洋祐(サトウ ヨウスケ)『ジャズミュージシャン。サクソフ奏者としてグラミー賞を2度受賞、ノミネートは4度。海外での活躍で世界的に高い評価を得た。その後2015年末千葉県に住まいを移し現在に至る。2019年より日本の歌を唄うシンガーとしても活動を開始。』

挿絵 TAKAKO